



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida



世界に希望を生み出そう

RI会長 **ゴードン R. マッキナリー**

第2570地区ガバナー **高丹秀篤**

第3グループ
ガバナー補佐 **齋藤栄作**

希望を語ろう We are Rotary, together

第3093例会 2023. 11. 29

—— ロータリー財団月間 ——

天候 晴 (NO. 60-22)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 本橋君、森田君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 ☎357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 岩泉 憲会員 田中健一会員

【会長報告】

お祝いの報告です。11/8「社会福祉事業関係団体功労者」として木川一男会員に「厚生労働大臣表彰」の受賞が決定されました(拍手)。

◎木川一男会員ご挨拶

昨年「埼玉県知事賞」を頂き、本年は国から「社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰」の通知を頂きまして、11/15 浅草公会堂・大ホールで行われた「全国社会福祉大会」に埼玉県からは2名が出席して、表彰を受けて参りました。名誉なことと思っております。

また、妻・順子が10年の間、介護度5で病気療養中のところ、去る11月6日、87歳で永眠致しました。14日、家族葬を滞りなく済ませることができましたが、会員皆様にはご配慮を頂き誠に有難うございました。飯能RCとの関わりでは、妻を同伴して訪れた、南米ペルーのマチュピチュや南アフリカのヨハネスブルグ、カナダでのRI国際大会等は良き思い出として話題にしておりました。

私も入会して33年を経ましたが、今後も体の続く間は例会には出席させて頂きまのでよろしくお願い致します。

【会長報告】

11/15(水)第1回創立60周年実行委員会

を開催。議題は予算、組織構成、日程等。予定日は**2025年4月5日(土)**。11/19(日)飯能RCゴルフコンペ(飯能グリーンCC)32名参加。優勝は山口会員。11/22(水)歳末たすけあい募金を新井市長に贈呈。社協の募金目標額(令和元年から去年まで)は2,871,000円、実績2,545,599円。去年の達成率88.7%。応募申請は152世帯。「加算」は身体障害者1・2級、要介護4・5の方に1人15,000円。「遺児等」22人に9,000円とのことでした。

11/22(水)夜、3年および10年未満の**炉辺会談**が開催。田辺ロータリー情報委員長の下、島田クラブ奉仕委員長、大野(泰)出席向上委員長、吉島クラブ戦略計画委員長の発表後、質疑応答。有意義な勉強会になったかなと思います。懇親会も和気藹々で行われました。

11/26(日)関田直子市議と土屋周年実行委員長、森会長エレクト、神田幹事、私で、双柳行政センターで行われている「**こども食堂**」を見学してきました。通常は食事を作って皆で食べるそうですが、流感で双柳小の学級閉鎖もあり今回は食事の代わりに米3合、ポカリスエット2本、缶詰2缶、おにぎり2個、唐揚げが先着50人に配られていました。

昨日は入間南RCの公開例会(入間市産業文化センター)。日本語の大変達人なウクライナの方の講演会でした。

【幹事報告】

2025~26年度ガバナーノミニーは坂口

孝氏(川越)に決定。例会後パスト会長会議。
12/6 第7回理事会。ご出席お願いします。

◎米山功労者・マルチプルの表彰

小川晃男会員 (4回目)

馬場正春会員 (3回目)

本橋 勝会員 (2回目)

森 健二会員

(拍手)



【委員会報告】

◎クラブ奉仕委員会

島田君

10月に実施したアンケート結果ですが、23名からのほぼ原文を掲載して配付しました。委員会活動に活かして頂ければと思います。未提出の方も引き続きご協力をお願いします。

◎国際奉仕委員会

沢辺君

昨日、人間南RC主催のナザレンコ・アンドリー氏講演会に会長、幹事と私で出席。講師はウクライナでコンピューターの勉強をされ、10年程前に来日。主な内容として：日本とウクライナは大変似ている。ウクライナ人はコサックの末裔で、武人の魂、団結力が残り、それが国を支えている。ロシアは難癖の名人であり、これから起こり得る話として、北海道はアイヌ人のものだから日本人は出ていけないというようなことを平気で言うだろう。北海道に米軍基地を造られたら大変だというのがロシアの思い。拉致を解決できない日本はだらしがない。食料自給率の低い日本は最初に滅びるだろう。ウクライナには200m超のシェルターが国中にあるが日本には1本も無い。自衛隊も長期戦は無理。米国が助けてくれると思っているだろうがそれも無理。手を出すと第3次世界大戦になって核が使われるから米国は手を引くというのが最終的な国の動き。日本とウクライナは昔からサムライの国で、精神的な部分は非常に高いということでもあり、今後共協力し合っていこう、という講演で、一同感動して帰って参りました。

◎会員増強委員長

吉澤君

入会3年未満の方へ、地区からのアンケートにご協力をお願いします。締切12/13。

【出席報告】無届欠席2 大野(泰)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
64名	4名	53名	82.81%

【M U】

11/28 (人間南) 馬場君、沢辺君、神田君

【ロータリーの友】

福島雑誌委員長

11月号、横組P8、グローバル補助金申請ガイド。P50、RI国際大会・2024 シンガポールの紹介。縦組P9、嘉納治郎右衛門氏(大阪RC)「菊正宗」社長の取組み。P13「ままかり」は学生時代、広島友人から頂き、お酒にも大変合う食べ物で、懐かしく拝見しました。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

本日計0円、累計額384,501円。

◎6日例会当番は町田、中里(昌)会員です。

【卓 話】

講師紹介

大崎プログラム委員長

第3弾のイニシエーション・スピーチです。よろしくお願いします。

イニシエーション・スピーチ

飯能RC 岩 泉 憲 会 員 (R5年4月入会)

飯能RC 田 中 健 一 会 員 (R5年5月入会)



いわいずみ けん

■岩泉 憲会員

本年度、親睦活動委員会でお世話になっております。先週の炉辺会談で田辺さんから頂いた「会員ハンドブック」の中に「イニシエーション・スピーチとは」とあり、そこに「経歴、職業、趣味、考え方等を他の方に

伝え、理解を深めること」とありましたのでそれに沿ってお話したいと思います。

私はS48年7月生まれで現在50歳です。小谷野君と同年で青年部でもご一緒させて頂いています。

両親は岩手県久慈市の出身で「じえじえじえ」とか『あまちゃん』で有名になった町です。空き家になった家と山がまだあり、年に1回位は家族と旅行がてら墓参りに帰ったりしています。過疎化が進み、人が住んでいるのか分からないような村なのですが、空気もきれいで、山奥なのですが海も近くて、田舎に帰ると防波堤に行くと釣りをしてるといった感じでした。

生まれた場所は岩手県だと今まで思っていたのですが、初めて母子手帳を母親に見せてもらったところ「飯能中央病院」でした(笑)。幼稚園に入る頃に笠縫の方に家を買って、その頃からは何となく記憶があります。

父は「造作大工」と言って、マンションや店舗等の内装を施工する会社を営んでいました。私が中学生の頃は一時100人近くの出稼ぎの職人さんが居て、寮や加工部門、家具製作部門があったりして、その系統の会社としては限界でかなり大きい会社でした。相当儲かっていたようで、小さい頃から父親に何か欲しいと言うとすぐ買ってくれるという何不自由ない完全なお坊ちゃん生活をしていました。

18歳からは父の会社で大工さんになるということで見習いとして就職させて頂き、「職人になるまでには3年かかる」とよく言わ

れていたのですが、真面目にやらせて頂き、大体1年位で覚えました。若い方でも早い人は当時百数十万稼いでいました。私も19歳の頃は80万円位稼いでいたのですが、すぐ飲み屋さんで使ってしまったりして、そんな生活をしていました。

そして、これから頑張るって稼ごうという矢先にバブルが崩壊しまして、元請からお金が貰えない等あって、RCの方々の中にもご迷惑をおかけした方がかなりいらっしゃることは重々承知しております。給料が払えず職人さんはみるみるうちに数名になってしまいました。父を捨てて違う仕事に就くわけにもいかず、それから出口の見えない10年間の極貧生活を味わうことになりました。

仕事はあったので忙しい毎日でしたが、給料はほとんど貰えず、たまに月1回2、3万円程が入ってくる、そんな感じでした。当時アパート暮らしをしていたのですが、そこも引き払い、食べる物にも困った時がありました。当時は、付き合っていた彼女の家に住まわせてもらってご飯を食べさせてもらったり、時にはお小遣いを貰ったりもしました。フラれると実家に一度戻って、新しい彼女ができるとまたそっちに行ってみたりと、そんな生活をしていました(笑)。それはそれで楽しいと言えば楽しかったのかもしれませんが、30歳位まではそんな生活でした。

30歳の時、父から「会社はもうダメだ。お前一人でやっていけ」と言われ、私一人で会社を立ち上げて一人で職人を始めました。

当時、細田建設(株)さんによく仕事をくれる監督さんが居まして、すごく仕事を頂いてお世話になりました。時が経つにつれて取引してくれる会社もどんどん増え、一人ではこなせないということで、当時一緒にやっていた職人さんや知り合いに連絡して手伝ってもらったりしていました。その時の職人さんは今も辞めることなく、従業員としてやってくれています。当時、赤字になる現場もよくありましたが、現在は充実した日を過ごしています。

会社を始める時に付き合っていて、住まわせてもらってお小遣いも貰っていた彼女に子どもができて、結婚することになりました。彼女は男の子2人の子持ちで、9歳年上の姉さん女房。私が31歳で彼女は40歳。いろいろ悩んだ部分もあったのですが、連れ子も一緒に暮らしていこうと決めました。

気持ち的にだらしのない部分が私には多くて、いろんな人と出会って、いろんな知識を得て、カッコよく言うと「自己の成長になる場」みたいなのを探しているところがありました。そんな時、JCのことを聞き、紹介してもらって入会させてもらいました。8年間位お世話になったのですが、その間に学んだ経験がなければ会社も潰れてもう無かったのかなと思う時もよくあります。

40歳のJC卒業の年に、「集まりが急に無くなるな」というところで、一人ぼっちになってしまうような寂しい気持ちになりまして、そのまま飯能商工会議所の青年部に自ら入らせて頂きました。47歳で会長もやらせてもらい、現在は幹事をやらせて頂いています。きっかり10年が経ち、来年の3月末で卒業というのは寂しいような気もしますが、自分としては完全にやり切ったと思っております。

その寂しさを紛らせるためにRCに入れさせてもらったわけではないのですが、これからはRC一本でやらせて頂ければと思っております。

現在は大工さんだけではなく、いろいろ頼まれることもあって、小さい工務店みたいな感じでやらせてもらっています。

今年、お蔭様で20周年を迎えることができました。今では連れ子の次男28歳が私の会社を継ぐと言ってくれていて、3年半位ですが今、一緒にうちの会社でやってもらっています。来年には長男31歳に子どもが生まれるということで、不思議な気分ですが、孫ができるんだな、という感じです。

今回スピーチに当たり、いろいろ考える機会を頂きまして有難うございました。家族にも仲間にも恵まれ、辛い時期もあったのですが、トータルでこの50年、幸せな人生を送れているんだな、というふうに実感することができました。これからもどうぞよろしくお願ひします。有難うございました。



たなか けんいち

■田中健一会員

「埼玉りそな銀行」の田中でございます。今年の5月に中里(昌)様よりご紹介頂き、入会させて頂きました。

S49年、岐阜県の生まれで現在49歳です。4歳位まで岐阜県安八(あんぱち)郡、新幹線の「岐阜羽島駅」近くに居りました。父親はサラリーマンで「三洋電機」の社宅に住んでおり、そこで生まれました。父親は大阪の出身で、カラーテレビの生産が非常に盛んになっていた時代でしたので、岐阜羽島にあった大きな工場に大阪から出て来て私が生まれたというような状態です。

「田中姓」は全国に130万人程居るとネットに書いてありましたが、私の祖父は福井の小浜市出身でして、農家だったのかなと思っています。

社宅は長良川と揖斐川の間の中洲、海拔0m地帯にあり、台風による水害で2階まで水に浸かって自衛隊に助けられたということがあったそうで、記憶はないのですが、自衛隊のお蔭で今があるのかなと思っています。

今、航空自衛隊入間基地のそばに住んでおり近くに自衛隊の方がたくさんいらっしゃるものですから、いつも感謝しながら生きているというような状態です。

その後、岐阜の大垣市に引越しまして、高校卒業までの15年程をそこで過ごしました。

昔は「大垣夜行」という東京発の夜行列車がありました。「大垣駅」は東と西を繋ぐ駅になっていて、そのままJRに乗り換えますと滋賀県の米原や京都にも1時間程で行けますし、「近鉄養老線」に乗り換えると三重県の桑名や伊勢に移動できるという立地でした。また、家から「関ヶ原古戦場」まで車で20分位で、よく遊びには行きましたが、今のように観光地化してはいなかったのが記念館も無くただの原っぱという感じでした。

そんなふうにと山と川に囲まれた、濃尾平野の田園風景が広がる場所が地元だったので、「早く都会に出たい」と、学生時代からずっと思っていました。岐阜も「海なし県」で、海に対する憧れがあり、港のあるまちに行きたいということで、その後、横浜の方に出て行って住むことができるようになりました。親に特に不満があったわけではなかったのですが自由を手に入れて都会暮らしがしたいという非常に強い思いが原動力になって、親戚もおりませんでした、一人で関東に出て参りました。

都会に憧れて出てきたものの田舎育ちの田舎者で、方言のなまりが出てしまうものですから、入行同期の妻は当時、私の言っていることが半分位分からなかったそうです。自分では標準語をしゃべっているつもりでしたが、妻は入間市小谷田の出身で生粋の埼玉県民。全く馴染みがなかったというところがございます。

方言の一例として、こちらでは「えらい」を「立派だ」という意味に使いますが、名古屋弁で「どえりゃーえらいでかんわー」は「とても疲れていてもうダメだわ」ということになります。標準語に憧れていたのですが、妻からは「方言があった方がいいよ」と言われます。

「あさひ銀行練馬支店」に最初に入行して、その後、新橋、志木、宮原、和光、鶴瀬、北浦和本社と異動。今年、飯能支店にやって参りました。自宅からこんなに近い勤務地というのはなかなかなくて、今回の人事異動については大変感謝しているところございます。

仕事としてというよりもプライベートでも今は飯能に馴染んでおり、愛着をもって生活しております。普段仕事の話は家でしないのですが、飯能に来てからは結構飯能の話をするので、家族からは「飯能好きだね」とよく言われます。山や川が岐阜の環境に似ているのかなとも思いますし、『翔んで埼玉』ではないですが「海なし県」でもあり、昔の名残りを求めて、今、ここに辿り着いたのかなという

ふうにも感じているところです。

銀行の話になりますが、私が入行したのはH10年で金融不安の真っ只中。「山一証券」が倒産したり、「北海道拓殖銀行」が破綻したりといった状況で、暗い話題の多い時代だったのですが、人生の中で一番のショックは「りそなショック」でした。

公的資金が注入されて実質国有化されたわけですが、思い出深いのはそのショックの当日に、私は結婚式を挙げたということです。今年で20年になるのですが、私の結婚式も20周年というような状態でございます。

結婚式の前日、私は呑気に休みをとっていました。当日朝、上司から電話で「ニュース見たか」と言われ、「何ですか」と言うと「よく見ろ」と言われ、見ましたらどの新聞もテレビも「りそな」のことばかりという状態でした。披露宴に呼んだ方の8割は当行の行員だったわけですが、その日に緊急の支店長会議が行われ、「支店のメンバーは皆、支店で待機しろ」との指示が出る中、披露宴を執り行いました。支店長は挨拶だけして帰ったのですが、残ったメンバーの、無理やり作った笑顔で撮った写真が今も残っております。

その後、去っていった仲間も結構多くて、私は当時29歳。「このまま居ていいのかな」と一寸思ったのですが、結婚式に来てくれたメンバーも居たので何とかここまでやってこられたのかなというふうに思っております。

皆様から温かいご支援を頂き、何とか完済できて今があるという状態です。

北浦和の本社には渋沢栄一の直筆の書「道徳銀行」があります。渋沢さんが唱えた「道徳経済合一」の精神、企業の利益は独り占めするのではなく、公共のため、皆のために資するものでなければならないという教えを受け継いだ形で仕事をしております。RCで「四つのテスト」を唱和する時にも「道徳銀行」の言葉が何となく目に浮かぶような気がしております。

結びになりますが、先日、炉辺会談を開いて頂き、貴重なハンドブックも拝見させて頂いて、「道徳経済合一」というところも含めてしっかり学びながら、皆さんと手を取り合ってこの地域の力に何とかなれるよう頑張ってお参りますので、どうぞ引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

